

自らも楽しみ人々に喜びを与える。「ともに生きる」みつみ福祉の心

2018年  
1月

みつみ福祉会情報誌フォーミー・トゥーミー

vol.35

For Me To Me

HUMAN SERVICE  
HUMAN SUPPORT



## Contents

- 『平成30年への飛躍と展望』 理事長 婦木 治 2
- 各施設トピックス 3

# 『平成30年への飛躍と展望』

社会福祉法人 みつみ福祉会

理事長 婦木 治

皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は、私たち法人の事業の推進に格別のご協力とご尽力を頂き感謝申し上げます。

昨年は、自然災害も全国各地で発生し、大きな被害をもたらしました。また、台風や爆弾低気圧による風雪害も近年にない被害の状況でした。本当に安心して暮らしていく日が来るのであろうかと思ってしまいます。

さて、昨年は国政や地方において選挙の年でした。政治は重要で私たちの要望や政策を具体的に実現していただき、少しでも暮らしやすい社会の創造につなげていってもらうところであります。

来年度の国の予算も大筋の骨格は出来上りました。特に、社会保障関連予算は膨れ上がり、介護や障がい関係の報酬単価も微増というところであります。これでは法人経営も非常に厳しい対応を迫られます。各法人の経営改善計画や将来的経営計画をもう一度見直し、経営の専門家や財務の専門家の意見を聞くのも大切なことだと思います。そうでないと、事業の休止や廃止を余儀なくされてしまうかもしれません。

やはり時代は厳しくなってきています。措置時代とは比べものにならないくらいの変化です。まさに契約の時代です。工夫して改善をしてご利用者サービスに徹していかないと、淘汰されていく時代になってきています。

また、職員の確保と定着がどの法人にとっても、頭を抱える問題です。働いてくれる人が確保できなければ、事業は進みません。魅力ある職場作りと福祉職場のイメージアップをさらに進めいかねばなりません。その上、

外国人労働者の導入も積極的に行われてきています。AIの導入も先進法人では進んでいます。我が法人も本格的に進めていかねばなりません。

そして、法人、事業所は自己の事業展開のことだけを考えていくのではなく、その法人が所在する地域と地域住民の皆様にとっても事業所の存在が頼りになり、安心安楽に暮らしていく拠点となっていかねばなりません。まだまだ努力の余地があります。何なりと、どんな形でもよろしいので、お声をかけていただければ、ありがとうございます。

最後に、法人あるいは各事業所が明らかに変わって行き、地域社会に何かを発信していくこうとしていると思っていただけるようになりたいと思っています。

今年も何卒よろしくお願ひします。



## 各施設 トピックス

内職部門 新作業場へ移転



日中活動 就労継続支援B型事業

今年度の事業計画に則し、検討課題であった就労継続支援B型事業（以後、B型事業）内職部の作業場の施設内から施設外（ききょうの杜から車で5分程）近場への移設が、9月4日に実現できました。新設した作業場の名称は、これまで作業室の名称として慣れ親しんでいた「なでしこ」としました。施設内のB型事業が使用していた作業室は、生活介護事業・自立訓練事業が有効利用しています。今般のB型事業の作業場の新設により、B型事業・生活介護事業・自立訓練事業の更なる発展は言うに及ばず多くの波及効果が見込まれるところです。



**サポートハウスけいあい**

**平成29年 敬老祝賀会**

三味線『すずらん』3名様をお迎えし、サポートハウスけいあいの敬老祝賀会を開催し、皆様のご長寿をお祝い致しました。

卒寿3名、米寿2名、傘寿1名、喜寿2名、古稀3名  
食事は、厨房職員の手作り弁当で美味しく栄養満点でした。

**春日学園**



9月16日(土) 音楽作家として活躍されている鈴木翼さんによる親子ふれあいコンサートを春日文化ホールにて実施しました。地域の親子のみなさんに来場していただき、子どもから大人までキラキラ笑顔があふれる楽しいコンサートでした。

各事業所からもボランティアとしてご協力頂きありがとうございました。

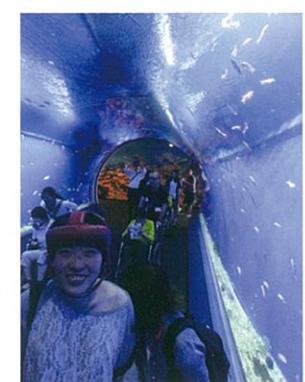


11月4日(土) 毎年恒例のバス旅行に出掛けました。今回の行き先は、姫路セントラルパーク！動物の方ではなく遊園地を満喫してきました。少し肌寒い日でしたが、子どもたちは関係なくジェットコースターやメリーゴーランド、ボートなどたくさん乗り物に乗って楽しんでいました。

**春日育成苑**

春日育成苑ではご利用者に楽しみをもった生活を送って頂ける様に年間を通して支援グループ別に日帰り旅行を実施しています。

魚が見たい！の思いに水族館へ、観光を楽しみたい！と話された方には天橋立へ。可能な限りご利用者の希望に沿った行き先を検討し、観光バスで楽しい旅になるようサポートさせて頂いています。外出時はご利用者の皆さんも満足そうにとても嬉しそうな表情で日帰り旅行を楽しめました。



**わかば保育園 おじいちゃん・おばあちゃんとのふれあい**

わかば保育園では、グループホームとだ・ケアハウスとだのご利用者の方と交流をしています。お散歩に出かけ「おはよう」と挨拶を交わしたり、春にはさつま芋の苗の植え方を教えてもらって一緒に植え、秋には収穫を楽しみます。10月には0歳児から5歳児が、かぼちゃやおばけなど、かわいい仮装をしてハロウィンのパレード。3・4・5歳児は歌やダンスの発表をし、おじいちゃん・おばあちゃん達と握手。手と手が触れ合う遊びをするとみんなが笑顔になり、仲良くなっています。

5歳児の卒園前にはお別れ会に招待してもらいます。子どもたちはおじいちゃん・おばあちゃんの歌や簡単な手遊びをして一緒に楽しめます。そして手づくりのベビーカステラを食べたりします。おじいちゃん・おばあちゃんは優しい笑顔で卒園を祝ってくれます。

温かい交流を通して優しさや思いやり、そして豊かな心が育てばいいなと思っています。これからも、子どもたちの元気な声を届けていきたいと思います。



**みつみ学苑**

**地域貢献事業 健康講演会**

今年で第7回目となる、みつみ学苑の地域貢献事業のひとつ、『健康講演会』を9月30日(土)に開催致しました。

みつみ学苑の産業医である、田中外科医院院長 田中庸生先生に毎年、地域の方とみつみ学苑職員が交流しながら健康知識を学ぶという目的で、テーマを設けて講演していただいています。

今年の演題は『転ばぬ先の転倒予防』で、DVDを鑑賞した後、簡単なストレッチを全員で行いました。その後、活発な質問が飛び交い有意義な時間を持つことができました。地域の広報誌にも講演会の様子が掲載され、健康への意識が高まったと大変ご好評いただきました。



**兵庫サポートセンター**

地域貢献事業の一環として8月12日(土)に地頭地区の夏祭りにおいて模擬店(ハンバーガー)を出店させていただきました。職員も最初はハンバーガーづくりに四苦八苦する場面もありましたが、出来上がったハンバーガーは地域の方々には「美味しい！」と、とても好評でした。また、地頭地区にあるグループホームのご利用者の方々も夏祭りに参加され、地域の方々とも交流を図り、楽しい時間を過ごしていただく事が出来ました。今後も地域との繋がりを大切にしていきたいと思います。





7月8日（土）におがわの里3周年感謝祭を開催させていただきました。

玉子のつかみどり、いきいき百歳体操体験、ちゃんむの里（喫茶）、クレープ屋台、デイサービス昼食試食会、宝探しゲーム、バルーンアート等のコーナーを設け、地域の方にお越しいただき事業所の取り組み等を理解していただく機会といたしました。



今年度から地域高齢者の健康増進に貢献するため、丹波市総合事業通所型サービスBの委託事業を受託しています。「いきいき百歳体操」を特養多目的ホールにて、毎週火曜日の午後行っています。毎週10名ほどの方に参加していただいております。



デイサービスおがわの里では、9月に「敬老会」を実施しました。市内のボランティアの方にお世話になり、日本舞踊や認知症予防体操等を行っていただきました。

「敬老会」での昼食は皆様のリクエストが多くつたお寿司を提供させていただきました。ご利用された方には、「楽しかった。」「美味しかった。」と喜んでいただけました。



11月19日（日）、JAふれあいまつりに参加しました。子どもたちは9月の運動会に鼓笛を披露しているのですが、その曲「恋」を皆さんに聴いてもらいました。

子どもたちは、「思い出の引き出し」にしまい込んだ「運動会の宝物の曲」を思い出すのが大変そうでしたが、本番に強い子どもたちは見事にこなしました。

地域の皆さんの大好きな拍手をいただいた大満足の表情でした。



9月に敬老祝賀式典が催され、米寿や卒寿の対象者の方は記念品を贈呈されました。また、100歳になられるご利用者もおられ、内閣総理大臣と京都府知事より表彰されました。

施設内敬老祝賀会では、ご家族も多数参加いただき、祝膳を囲み皆様のご健康とご長命をお祝いし、余興としてボランティアによるマリンバの演奏を楽しめました。

11月は収穫の時期、わかば保育園より園児を招き「ハロウィン収穫祭」として交流を行いました。かわいい子ども達の歌やダンスを皆さん笑顔で観賞され、その後、子ども達と一緒にゲームをされたり、会話をしながら焼き芋を召し上がられ楽しいひと時を過ごされました。



今年は生憎の雨で三愛荘合同文化祭が中止となりましたが、養護では行事として花見会・運動会・納涼祭・敬老祝賀会などを行い、皆様に楽しい時間を過ごしていただきました。ご利用者がクラブ活動を選択され、野菜の栽培、クッキング、カラオケ、ボウリング、塗り絵などに参加されるなど、余暇の充実を図ることができました。また、ホーム喫茶や寿司バイキングなどでは、食の楽しみも味わっていただきました。



8月26日（土）にグループホームとだ、ケアハウスとだの合同で納涼祭を実施しました。わかば保育園の敷地をお借りして、グラウンドに屋台を設営し、ホールでは飲食を楽しんでもらうとともに、ボランティアによる余興を楽しんでもらいました。地域の方、ご家族も多く参加して頂き、天候にも恵まれ盛大な開催となりました。



また、今年の夏は台風が多く襲来し、何度も避難を行いました。大きな被害をもたらした9月の台風21号では周辺地域が冠水し事業所にも間際まで水が迫ることとなりましたが、多くの事業所の協力をいただきことで被害なく収束することができました。



人と人の心がつながる魔法のことば “ありがとう”

## 平成28年度みつみ福祉社会後援会活動に協賛いただいた事業所の皆様（順不同）

藤原モータース  
マンマシン株式会社  
一般社団法人京都微生物研究所  
福大商事株式会社  
株式会社前原  
京都北都信用金庫岡ノ町支店  
株式会社石坪  
荒川商事株式会社  
安田技工  
S E洗機澤野令行  
山南電化サービス  
株式会社東兵庫魚菜  
株式会社ティー・ユー・ティー  
丹波ひかみ農業協同組合

株式会社中庄本店  
丹波製麺所  
株式会社保険の夢工房  
株式会社横谷モータース  
大喜自動車工業株式会社  
有限会社エース健康食品  
株式会社たんぽぽ  
株式会社カマタニ  
八千代ケアサポート株式会社  
株式会社ヒロヒューマ(ふれあい薬局)  
株式会社杉本設備

ライズメディコ株式会社(旧丹波医療)  
日清医療食品株式会社近畿支店  
アイデア工房ぱらだいすトマト  
株式会社関西旅行社  
株式会社吉住工務店  
株式会社みどり防災  
電化ランドおおつき  
中兵庫信用金庫春日支店  
伊丹産業株式会社氷上工場  
村上廣治商店  
株式会社森田工務店  
谷川設計事務所  
井本自動車  
有限会社サントエイ

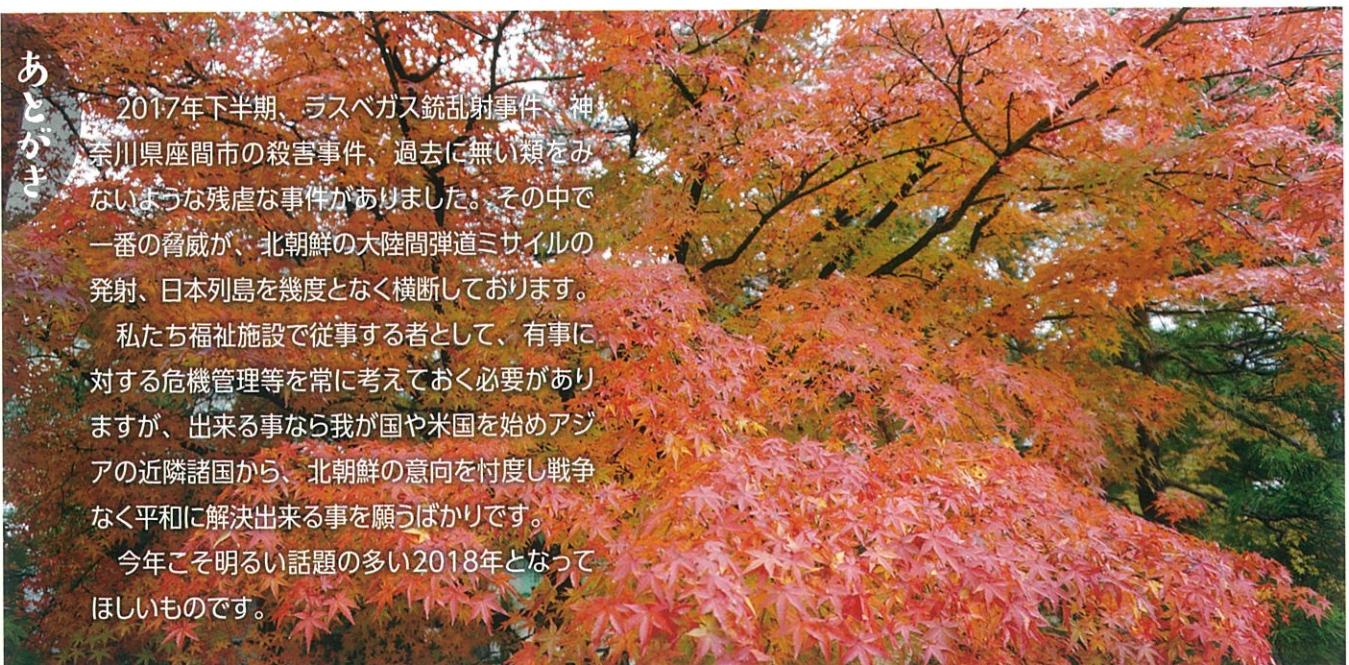
ありがとうございました

あとがき

2017年下半期、ラスベガス銃乱射事件、神奈川県座間市の殺害事件、過去に無い類をみないような残虐な事件がありました。その中で一番の脅威が、北朝鮮の大陸間弾道ミサイルの発射、日本列島を幾度となく横断しております。

私たち福祉施設で従事する者として、有事に対する危機管理等を常に考えておく必要がありますが、出来る事なら我が国や米国を始めアジアの近隣諸国から、北朝鮮の意向を忖度し戦争なく平和に解決出来る事を願うばかりです。

今年こそ明るい話題の多い2018年となってほしいものです。



## For Me To Me vol.35

2018年1月発行

発行所／社会福祉法人 みつみ福祉会

発行人／婦木 治

〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地

TEL 0795-75-0314 FAX 0795-75-1694

デザイン・レイアウト・制作／アイデア工房ぱらだいすトマト

奥平 晃己・大西 順子

掲載した写真等は、  
個人情報保護法により、  
ご本人、ご家族の了解の上  
使用しております。



URL <http://www.mitsumi.or.jp/>